

3月定例会号 令和5年(2023年)4月20日号

やお市議会だより

vol. 319

特集

中学生と市議会の

座談会

令和5年度 当初予算

注目の事業は？ どうなる？水道事業



特集 質問！「議員になってよかったことは？」

中学生と市議会の 座談会

協力：久宝寺中学校 生徒会の皆様

若い世代にも届く
議会広報を

八尾市議会ではこれまでも高校生や大学生との意見交換など、若い世代にも議会を身近に感じていただくような取り組みを行い、広報で発信してきました。

「若い人たちと議会の距離をもっと近づけたい！身近に感じてもらいたい！」

という思いをもとに、どのように広報するのか、議会だより編集委員会の委員で話し合いました。

そこで、今回の特集記事では、中学生の皆様との交流の機会をいただき、市議会や議員への質問・疑問などを、編集委員が本気で正直に答える座談会を企画しました。

主権者教育の
「環」

また、議員と直接話すことで、学校の生徒の皆様にとっては議会制度への理解が深まり、市議会や議員への興味や関心を高める学びの機会となればと考えました。

座談会後の中学生の声

・「親と選挙に行ったことがあったけど、その人たちがどんなことをしているのか分かってよかった。」

・「選挙はまだ自分には関係ないと思うんだけど、市のことをもっと知ることも大事だなと思った。」

市議会や議員、市政を身近に感じ、学んでいただけたことは嬉しい限りでした。

中学生から議員に質問
編集委員が正直に答えました



最年少と最年長の議員は何歳ですか？

僕が最年少でいま34歳。最年長の議員は76歳です。年齢幅がある様々な議員が選ばれることで、それぞれの立場で意見を出し合うことができるのが大事なことだと思います。



吉村委員長



会議の長さはどれくらいですか？

【吉村委員長】年4回の定例会があり、期間は1〜2か月です。でも、その前に議案（予算案や条例案など）の説明を受けたり、内容を勉強する時間が必要なので、実際にはもっと長い時間、議会で活動します。また会議時間は、僕は長い時では午前10時に始まって夜10時までというのがありました。中には短い時間で終わる会議もあります。



議員になってよかったことは何ですか？

人との関わりが格段に増えて、いろんな意見や相談を聞く中で自分自身学ばせていただいていると感じています。もう一つは、例えば学校や道路、水道など、八尾市の行政がどういうふうになり立っているのか、お金のことも含めて具体的に分かるようになったことです。



前園委員



西川委員

4年前に初めて議員になって、その内3年間はコロナ禍でした。このような大変なことが起こった時だったからこそ、皆さんの学校や市民の方たちが何に困っているのか、何を必要としているのかに引き合っって一緒に考えることができ、議員としてとても大事な経験になったと思います。



議員になって辛かったことはなんですか？

議員になる以前から、八尾市について、こうなったらしいのになと思うところがありました。議員になったことで、一市民の時とは違って、その思いを市役所の職員の人に届けることができる立場になったのは嬉しいことだと感じています。



坂本委員

国会議員や総理大臣になりたいですか？

【坂本委員】市議会議員を続けたいと思っています。僕は政党に所属しているので、国の問題は同じ政党の国会議員に伝えて対応してもらえます。市議会議員だからこそできることがあると思っています。



議員同士、仲はいいんですか？

【西川委員】中学生の皆さんが考える仲がいいとはもしかすると違うかもしれないのですが。

議員それぞれに意見や考え方の違いはあるので、議会ではその意見の食い違いをどう話し合っていくかが大切です。その話し合いができるくらいには仲がいいと思います。

議員は皆、この八尾市を良くしたいという思いを持って選挙に出て議員になっているので、苦労が分かり合えるのだと思います。



八尾市をどんなまちにしたいですか？

【吉村委員長】お金を気にしないでもいいなら市内全域にWiFiを通したいです。ネット社会なのでインターネットに関わる格差を生まないようにそんなこともできたらなと思います。ですが、これは夢の話です（笑）でも例えばそういう夢をどうやって現実の形にできるかを考えていくのが議員の仕事の面白さだと思うので、これからも市民のために頑張っていきたいです。

編集委員会からメッセージ

中学生の様々な声を生で聞くことができ、私たちとしても大変貴重な機会となりました。久宝寺中学校生徒会の皆様、先生方、ご協力いただき本当にありがとうございました。中学生の皆様をはじめ、若い世代の皆様、保護者の皆様に議会に興味を持っていただける記事となっていれば幸いです。

校長先生から一言

議員の皆様が丁寧に質問にお答えくださり、楽しみながら座談会を行うことができました。これから社会の形成者となる生徒たちにとって、議会や自治について学ぶ良い機会となったと思います。



市議会が注目した議案はコレです

ピックアップ

1

水道事業の広域化に関する協議 議案可決

これまで本市で行ってきた水道事業を、大阪府域一水道を目指す「大阪広域水道企業団」に統合し共同処理することに関する協議について、市長から提案があり、市議会で審議しました。

建設産業常任委員会で詳細に審査した後、本会議において可決しました。

▶建設産業常任委員会の審査概要は12ページ参照



ピックアップ

2

常任委員会の委員定数を変更

議員の定数が 28 人→ 26 人になることに伴い、常任委員会の委員定数を変更するため、委員会条例の一部を改正しました。(建設産業常任委員会・健康福祉環境常任委員会が 7 人→ 6 人に、予算決算常任委員会が 27 人→ 25 人に変更)

総務



税金、出張所、消防などに関わること

7人

建設産業



道路、公園、水道などに関わること

6人

文教



学校、認定こども園などに関わること

7人

健康福祉環境



健康保険、市立病院、ごみ処理などに関わること

6人

予算決算



予算、決算に関わること

25人

議会活動の記録

本会議

(3月3日、6日、24日)

議会運営委員会

(2月15日、21日、3月3日、23日)

総務常任委員会、予算決算常任委員会(総務分科会)

(3月14日)

建設産業常任委員会、予算決算常任委員会(建設産業分科会)

(3月10日)

文教常任委員会、予算決算常任委員会(文教分科会)

(3月13日)

健康福祉環境常任委員会、予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)

(3月9日)

予算決算常任委員会(全体会)

(3月20日)

予算決算常任委員会(理事会)

(2月21日、3月3日、17日)

各派代表者会議

(1月27日、2月15日、3月17日、23日、30日)

議会だより編集委員会

(3月3日、30日)

意見書調整会議、幹事長会議

(3月22日)

八尾市議会新型コロナウイルス対策会議

(3月30日)

令和5年度 当初予算を可決

一般会計(骨格予算) 1,169億円超

令和5年3月定例会は、3月3日から3月24日まで開会しました。1日目から2日目にかけて個人質問を行い、市政全般について質問しました。また、令和5年度当初予算案などの議案を上程し、所管の委員会で審査しました。

最終本会議では全ての議案を可決・承認しました。最後に、令和4年度の所管事務調査の報告を行い、3月定例会を閉会しました。

▶個人質問は8~10ページ、所管事務調査は11ページ、議決結果は14ページ参照

令和5年度 市議会が注目した事業

▶委員会の審査概要は12~13ページ参照

地区防災推進事業

622万6千円

新たに地区防災計画を策定する地区に対して策定を支援し、地域防災計画への位置づけを目指す。



オープンイノベーション推進事業

4,908万1千円

中小企業の新たな価値創造に向けたアドバイス支援や、大阪・関西万博の「大阪ヘルスケアパビリオン」展示出展に向けた取り組みを行う。



障がい児保育支援事業 (私立認定こども園等)

7億4,847万2千円

医療的ケアに関するガイドラインに基づき、円滑な制度の構築を図るとともに、新たに民間園の先行実施モデル園で受入れを開始する。



重層的支援体制整備事業

3,406万4千円

複合化・複雑化した課題等を有する人に対して、課題解決のための支援が包括的に提供されるよう、相談支援体制の充実を図る。



白熱議論

読んでみよう



本会議
2日間 10人の

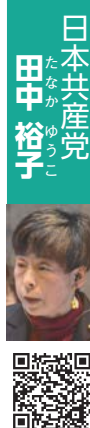
個人質問

市のサービス
何が変わるの？

八尾市の課題って
何なの？

税金の
使い道は？

**!? 敵基地攻撃能力の
整備に反対**



Q 集団的自衛権の行使のための敵基地攻撃能力の保有は、反撃を受けるなどの危険性をはらむと考えられる。また、国は戦争を継続するための自衛隊基地の強化計画を進めており、戦争する国づくりは容認できない。陸上自衛隊八尾駐屯地に整備の動きはあるのか。

A 市として相談を受けている。

Q 陸上自衛隊八尾駐屯地への敵基地攻撃能力の整備や八尾空港の軍事利用に反対するべきかどうか。

A 外交・防衛・安全保障などは国の専管事項であるため、答弁は差し控える。

※敵基地攻撃能力とは

長距離ミサイルの配備や、火薬庫などの保管場所整備など、敵の基地を直接攻撃できる能力のこと。令和4年12月に、政府は国家安全保障戦略などの安保3文書を閣議決定し、敵基地攻撃能力の保有について明記された。

**教育現場に
「人」の拡充を**



Q 教育を取り巻く課題や、時代に対応する学校教育を進めるためには、教育現場の人材の拡充が必要である。スクールソーシャルワーカー・ICT支援員の配置、地域住民との連携に対する市の考えは。

A スクールソーシャルワーカーの体制の充実、ICT支援員の継続配置を進める。また、コミュニティ・スクールの実施や、地域住民等と学校が連携・協働して行う活動の早期導入を目指し、検討を進めていく。

Q インクルーシブ教育推進のための環境づくりや指導体制の見直しは。

A 通級指導教室の巡回指導体制の整備、通常学級の支援員等の増員配置を進めており、概ね整えることができると考えている。

その他の質問項目

- 人権尊重の視点に立ったまちづくりと公民協働の大切さについて
- 手話言語条例について

**日本共産党
杉本 春夫**

**認知症予防のため
補聴器購入助成を**



Q 加齢性難聴者の認知症予防や生活の質を向上させるため、本市独自の補聴器購入助成制度を実施すべきかどうか。

A 国に対し、引き続き要望を行うとともに、財源を確保しながら、制度導入時の課題や効果、環境整備も含め、高齢者の健康施策全体の中で検討していく。

Q 厳しくなる物価高騰から、市民の暮らしや営業を守るため、本市独自の支援をすべきかどうか。

A 市民の生活実態の把握に努め、必要とされる支援策につなげていく。また、事業者に対しては、国等の制度等の周知や、活用の支援を実施していく。

Q 市内路線バス等に100円で乗車できるおでかけ応援事業について、引き続き実施してはどうか。

A 国による交付金や本市の財政状況、社会経済状況など総合的に勘案し、検討していく。

**大阪維新の会
田中 慎二**

**地震災害に対する
市の考え方は**



Q 建物の耐震補強以外にも、建物倒壊から命を守る耐震シェルターの設置が、震災対策の選択肢としてあるが、本市の対応はどうか。

A 耐震シェルターは建物全体ではなく、部屋の中に強固な箱型の空間を比較的安価に設置できる震災対策の一つとして認識しており、相談を受けた際には、情報を提供している。

Q 発災時における本市の対応について、早急に体制を整え、人命救助にあたることはできるのか。

A 全てを公助で対応することは難しいと考えられるため、自助・共助の取り組みの強化を進めている。



各家庭での非常用食料や簡易トイレ等の備蓄が重要である。

**自由民主党
松田 憲幸**

**インクルーシブ教育
方向性の説明を**



Q 障がいの有無に関わらず共に学ぶインクルーシブ教育に関し、本市の今後の施策の方向性が示されず、不安の声を聞いている。

現在、安中小学校と成法中学校は難聴支援教育拠点校であるが、学区外からの通学も含めた、拠点校としての位置付けや役割に変更はないか。

A 拠点校とする位置付けや役割は継続する方向で進めている。

Q ロジャー（デジタルワイヤレス補聴援助システム）の貸与など、難聴の児童・生徒への合理的配慮として、支援の幅を広げることが必要ではないか。

A 障がいの程度や経費等を考慮しながら、ロジャーの貸与などの支援の手法を検討していきたい。

その他の質問項目

- 総合防災訓練の成果と改善点について
- 防災拠点の課題について
- 消防庁舎建替の進捗状況について
- 国民保護訓練の実施予定と必要性について

**日本共産党
谷沢 千賀子**

**子育て・教育施策の
充実に全力あげよ**



Q 放課後児童室の延長保育が夜7時まで拡充され、現場の負担が増えるが、人員は補充するのか。

A 延長を理由とした増員は行わない。募集は常時行っており、指導員の確保に努めている。

Q 保育の質の向上と、保育士の処遇改善を目指し、保育士の配置基準の見直しを国に要望しながら市独自でも対応すべきかどうか。

A 本市は従前から国基準を上回る1・2歳児配置補助等に取り組んでいる。更なる配置基準の改善には財源が必要ことから、国や大阪府へ要望していく。

Q 特別支援学級に在籍する子どもを通常学級の人数に組み込むことで41人以上の学級が解消されたが、小学校35人学級や中学校への制度拡充、今後の継続実施の考えは。

A 令和5年度も小学5・6年生で市費による講師を配置し少人数学級拡充に努めるが、他学年の予定はない。令和6年度以降は国・府の動向等を踏まえ検討していく。

個人質問

▶ QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

所管事務調査の報告の概要

常任委員会で自主的にテーマを決めて市政について調査を行いました。令和4年度中の調査について、各委員会で最終報告書をまとめ、市長に提出しました。

報告書全文は
ホームページに掲載 ➡



市の施策の現状を聞き取り、課題等を確認した。



他市の先進事例を視察。本市にどのように生かすことができるか研究した。

総務 常任委員会

テーマ

- ・事務事業の見直し
- ・過去3年間の調査結果の検証

報告内容(抜粋)

・事務事業の見直しについて、一致した意見
事務事業の見直しにおける評価基準を明確にし、議会や市民の意見がどのように施策に反映されているか、市民がその効果を確認できるよう公表方法等の仕組みを検討されたい。

文教 常任委員会

テーマ

- ・学校ICT

報告内容(抜粋)

・学校ICTについて、一致した意見
各学校で教職員に対するICT研修を重ねて、それぞれのICT能力の向上を図り、各教職員のICT能力の評価を実施し、その高得点者をエバンジェリスト(ICT推進員)として任命するよう、取り組みを進めることを求める。

建設産業 常任委員会

テーマ

- ・水道事業の広域化の検討状況
- ・過去3年間の調査結果の検証

報告内容(抜粋)

・水道事業の広域化の検討状況について、一致した意見
水道管を含めた水道設備及び施設の老朽化に伴う更新費用の増加や、給水人口の減少に伴う収入減少など、水道行政や市民生活を取り巻く環境の変化について、分かりやすい情報の発信を行われたい。

健康福祉環境 常任委員会

テーマ

- ・過去3年間の調査結果の検証

報告内容(抜粋)

・親なき後(令和3年度調査テーマ)について、進捗状況についての確認
親なき後を見据えた準備については、民間の団体より想いをつなぐノートの寄贈を受けるとともに、保護者の方などを対象に親なき後セミナーを実施している。また、事業所に対しても保護者の考えへの理解やノートの活用を広めることを目的としたセミナーも実施している。



無所属
つゆはら ゆきなが
露原 行隆
楽しみながらできる
健康への取り組みを



日本共産党
おち たいこ
越智 妙子
中学校の給食費
無償化を求める



日本共産党
おおの よしのぶ
大野 善信
高過ぎる国保料
条例改正の撤回を



公明党
にした なおみ
西田 尚美
投票をサポートする
選挙支援カードを



Q 全ての人が楽しみながら健康になれるような、ソフト面・ハード面での整備が必要と考える。例えばソフト面では、スマートフォンやスマートウォッチで利用できる本市独自の健康アプリの活用、ハード面では階段アートの工夫で階段の利用を促す取り組みが考えられる。健康づくりに対する本市の見解はどうか。

A ソフト面では、高齢者に対する保健事業と介護予防の一体的な実施とともに、民間等のアイデアや技術を生かす新たな連携の仕組みを構築していく。ハード面では、意識しなくても健康的な状態に導く取り組みも大切と考え、他市の事例等を参考に研究していく。

Q 通学路の安全対策のため、今ある取り組みを生かしながら、子ども・教職員・地域の見守り隊が交流して、安全講習等を行うことが大切と考えるがどうか。

A 同じ認識である。



中学校の全員給食は令和5年9月から実施予定となっている。

Q 中学校給食の無償化については、全国的に進んでいる。本市も小学校給食については令和5年度もコロナ対策として無償化を継続することだが、中学校給食についても無償化を進めるべきではないか。

A 中学校給食費のあり方については、財政状況や社会経済状況を踏まえ検討していく。

Q 小学校と同様に中学校においても栄養職員を配置するべきと考えるが、今後の予定はどうなっているのか。

A 定数改善や加配教職員の配置等、府へ要望するとともに、国へ栄養教諭について給食実施校全てに配置するよう要望していく。

Q 国民健康保険の都道府県化に向けて、本市はこれまでに応能割と応益割の割合を変更する条例改正を行い、保険料を引き上げた。条例改正を撤回し、市民の負担となる高過ぎる保険料を引き下げるべきだがどうか。

A 府内統一保険料率への移行に向けて被保険者の年度間の負担緩和のため段階的に賦課割合の条例改正を行った。令和5年度の保険料は基金等を活用し、負担緩和に努める。

Q 国はマイナンバーカードの取得を事実上、強制し、マイナンバーカードと健康保険証の一体化を進めている。反対すべきであるが、市の対応はどうか。

A 国からマイナンバーカードに関する方針が示されており、本市においては方針に基づく適切な事務執行を行っている。

Q 障がいのある子どもとともに投票に来た保護者など投票時に支援が必要な方が、投票所のスタッフに事情を伝えられず投票ができなかったなどの事例があった。サポートが必要なることをスムーズに伝えることができる選挙支援カードを導入すべきではないか。

A 令和5年4月に執行される統一地方選挙より全ての投票所と期日前投票所で活用する。

Q 子宮頸がんワクチン接種について、2価、4価ワクチンで1回目や2回目の接種を済ませた人でも医師と相談の上で残りの回数の接種を9価で行う交互接種も認められている。接種の機会を逃さないよう周知を行うべきだがどうか。

A 9価ワクチンについては、国の審議会では議論が継続されており、詳細な内容が決定次第、迅速かつ丁寧な周知を行う。

その他の質問項目

- ママサポートタクシーについて
- 文化芸術芸能祭について
- 防災対策について

委員会 で 詳しく 審査

総務 常任委員会・分科会

令和5年度の骨格予算が
過去最大規模となった要因は？

Q 令和5年度の骨格予算について、トップランナー方式に基づく運営手法の見直しや八尾市職員数管理目標に基づく各取り組みを推進して予算化を行っているが、過去最大の予算規模となっている。その内容について聞きたい。

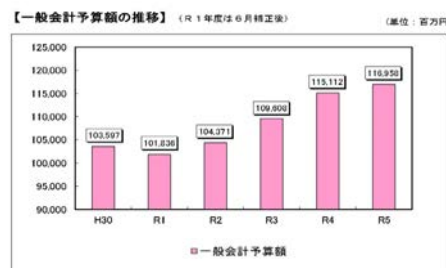
A 感染症対策費について約9億2000万円、感染症対策医療助成費で約4億7000万円、歳入確保事務経費で約3億7000万円の増加。また、会計年度任用職員等の増加が見込まれることにより人件費全体

で約4億4000万円が増加していることなどが主な要因となっている。

Q 地方債残高が減少となった要因はどこにあるのか。

A この4年間行財政改革の取り組みを進めるとともに、ふるさと納税などの歳入確保を行うことにより、新たな地方債の発行を抑制してきたことに加え、減税補てん債等の元金が減少したことなどが主な要因となっている。

令和5年度予算参考資料より抜粋



令和5年度当初予算は骨格予算ではあるが過去最大規模となっている。

分科会で審査した議案

- 令和5年度八尾市一般会計予算の件（所管分）
- 令和5年度八尾市財産区特別会計予算の件
- 令和5年度八尾市土地取得事業特別会計予算の件
- 令和4年度八尾市一般会計第15号補正予算の件（所管分）

その他議案3件

建設産業 常任委員会・分科会

大阪広域水道企業団との事業統合
市民への情報周知の方法は？

Q 本市水道局と大阪広域水道企業団の事業統合に係る議案が可決された後、市民への情報周知はどのように行うのか。また、水道局職員から大阪広域水道企業団職員に身分を移管する職員の確保はどのように行うのか。

A 水道事業統合に向け、市政だよりやホームページ、また、検針時に投函する「やおの水道」を活用しながら、市民への周知を図る。水道局職員へは身分の移管を判断するための説明や情報提供等に努めていく。



水道事業の広域化の協議に関する議案が可決された。

委員会 で 審査した議案

- 大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件
- 市道路線の認定及び廃止に関する件

その他議案3件

分科会で審査した議案

- 令和5年度八尾市一般会計予算の件（所管分）

その他議案6件

議会がしっかり チェック

文教 常任委員会・分科会

医療的ケア児の新たな支援
予算の内容と今後の方向性は？

Q 就学前施設で医療的ケア児を受け入れるための新規予算の内容は。また今後、医療的ケア児の受入れは増えていくのか。

A 民間園で新たに1名を受け入れるモデル事業を行う。今後は公立以外にも受入れ可能な民間園を増やしていきたい。

Q 野口美文氏からの寄付をもとに、若者の進学時に奨学金を支給する基金を設置する条例案が提案された。対象者や支給額は。

A 学校教育法に基づく大学・短大・専門学校等に進学・在学する学生で、児童養護施設等に入

所していた人や里親等で養育されていた人等が対象で、毎年度5名認定し、月5万円支給する。

Q 申請受け付けと認定の時期は。

A 令和5年度は同年8月に受け付けて9月に認定、令和6年度以降は同年3月に受け付けて4月に認定の予定である。

Q 小学校給食を引き続き無償化する予算について、食材の高騰で給食費は一人当たり月500円増となるが、さらに物価が上がる可能性も想定しているのか。

A 今後の値上がりも見越して積算した額を計上した。

医療的ケア児とは

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引などの医療的ケアを受けることが不可欠である子どものこと。

令和3年9月「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行。医療的ケア児の健やかな成長と、その家族の離職の防止に資するため、安心して子どもを育てるための様々な取り組みが進められることになった。

委員会 で 審査した議案・請願

- 八尾市子ども・子育て会議条例等の一部改正の件
- 野口美文若者がはばたく奨学基金条例制定の件
- 2023年度八尾市の教育条件整備についての請願の件

分科会で審査した議案

- 令和5年度八尾市一般会計予算の件（所管分）

その他議案3件

健康福祉環境 常任委員会・分科会

重層的支援体制整備事業の開始
何が変わるのか？

Q 令和5年度から重層的支援体制整備事業が開始される。介護保険制度の中で行っていたサービスの一部を一般会計予算での実施に移行することだが、どのようなメリットがあるのか。

A 複合化・複雑化した問題に対し、高齢・介護・障がい・子ども・困窮に関わる各分野の支援を制度で区切るのではなく、つなげる支援室を中心に包括的に連携した取り組みができるようになると考えている。

Q 移行対象の事業は、市民はこれまで通り、利用できるのか。

A 高齢者あんしんセンターの運営や一般介護予防事業等の一部が対象であるが、これまで通り利用できる。

Q 国民健康保険条例の一部改正について、出産育児一時金の支給額が増額され、40万8000円から48万8000円となる。市民への周知が必要だが、どのように行っていくのか。

A 市政だより、ホームページ等で周知・啓発に努めるとともに、その他にも様々な手法を検討していきたい。

委員会 で 審査した議案・請願

- 八尾市国民健康保険条例の一部改正の件
- 市民の暮らし、生命を守るため国民健康保険料の引き下げを求める請願の件

その他議案4件

分科会で審査した議案

- 令和5年度八尾市一般会計予算の件（所管分）

その他議案8件



令和5年3月定例会 本会議 議決結果

10日(月)	7日(金)	4日(火)	7月	29日(木)	28日(水)	27日(火)	26日(月)	22日(木)	21日(水)	20日(火)	16日(金)	15日(木)	13日(火)	6月	31日(水)	25日(木)	5月
本会議(議案採決)	議会運営委員会	予算決算常任委員会(全体会)		総務常任委員会 予算決算常任委員会(総務分科会)	建設産業常任委員会 予算決算常任委員会(建設産業分科会)	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)	文教常任委員会 予算決算常任委員会(文教分科会)	本会議(予備日)	本会議(予備日)	本会議(個人質問) 予算決算常任委員会(全体会)	本会議(代表質問)	本会議(代表質問)	本会議(議案説明・市政運営方針)		議会運営委員会	議会運営委員会	

6月定例会の予定

意見書

市の権限だけでは実現できないことについて、市議会が国や都道府県に意見や希望を提出する文書のことです。

1 件の意見書を、関係各大臣及び国会に送付しました。

○ アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書

1. アスベストによる健康被害者の治療や進行抑制に効果のある研究・開発を促進し、そのための安定的な予算を確保すること。
2. 地域の建築物におけるアスベストが含まれる建材の使用の有無の事前調査と解体・処分までの追跡調査を強化すること。
3. 改正大気汚染防止法施行による建物の解体などにおける飛散防止対策の実施状況調査を強化すること。



請願

市民が市に意見や要望を述べることです。提出する場合は、議員の紹介が必要です。

所管の委員会で審査し、本会議で採決を行いました。

不採択 市民の暮らし、生命を守るため国民健康保険料の引き下げを求める請願

〔請願項目〕
・市民要望が高い国民健康保険料を所得の少ない世帯を含め、引き下げを行なってください。



不採択 2023年度八尾市の教育条件整備についての請願

〔請願項目〕
・小学校5年から中学校3年までの35人学級を実現してください。
・小学校の学校給食費無償化を2023年度4月以降も継続し、来年度9月から実施予定の中学校給食も無償化してください。



○賛成 ×反対 (請願は○採択 ×不採択)

賛否が分かれた議案等

件名 []は討論件数	議決結果	大阪維新の会	公明党	日本共産党	自由民主党	八尾の未来を紡ぐ会	新声	会派に所属しない議員
		稲森 洋樹 鎌方 淳治 松本 剛 坂本 尚之 榊井政佐 田中 慎二 阪本 忠明 奥田 信宏	南方 武 前園 正昭 五百井真二 土井田隆行 重松恵美子 西田 尚美	大野 義信 田中 裕子 谷沢千賀子 越智 妙子 杉本 春夫	松田 恵幸 畑中 一成 田中 久夫	吉村 拓哉 西川 あり 大星なるみ	山中 宏 竹田 孝吏	露原 行隆
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更に関する協議の件[賛成1反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
令和5年度八尾市一般会計予算の件[反対1][※]	可決	○	○	×	○	○	○	○
令和5年度八尾市国民健康保険事業特別会計予算の件[反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
令和5年度八尾市介護保険事業特別会計予算の件[反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
令和5年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計予算の件[反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
令和5年度八尾市水道事業会計予算の件[反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
市営西郡住宅14～18号館建替事業に係る事業契約締結の件[反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
令和5年度八尾市一般会計第2号補正予算の件[反対1]	可決	○	○	×	○	○	○	○
市民の暮らし、生命を守るため国民健康保険料の引き下げを求める請願の件[採択1]	不採択	×	×	○	×	×	×	×
2023年度八尾市の教育条件整備についての請願の件[採択1]	項目1	×	×	○	×	×	○	×
	項目2	×	×	○	×	×	×	×

◆奥田信宏議員は議長のため採決に加わらない。

全会一致の議案等

件名 []は討論件数	議決結果	件名 []は討論件数	議決結果
損害賠償に関する和解専決処分承認の件(議案第1号)	承認	令和4年度八尾市病院事業会計第1号補正予算の件	可決
損害賠償に関する和解専決処分承認の件(議案第2号)	承認	令和4年度八尾市水道事業会計第1号補正予算の件	可決
損害賠償に関する和解専決処分承認の件(議案第3号)	承認	令和4年度八尾市公共下水道事業会計第1号補正予算の件	可決
市道路線の認定及び廃止に関する件	可決	令和5年度八尾市財産区特別会計予算の件	可決
八尾市手数料条例の一部改正の件	可決	令和5年度八尾市土地取得事業特別会計予算の件	可決
八尾市子ども・子育て会議条例等の一部改正の件	可決	令和5年度八尾市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算の件	可決
八尾市国民健康保険条例の一部改正の件	可決	令和5年度八尾市病院事業会計予算の件[賛成1]	可決
八尾市旅館業法施行条例の一部改正の件	可決	令和5年度八尾市公共下水道事業会計予算の件	可決
八尾市都市公園条例の一部改正の件	可決	令和5年度八尾市一般会計第1号補正予算の件[賛成1][※]	可決
野口美文若者がはばたく奨学基金条例制定の件[賛成1]	可決	令和5年度八尾市一般会計第3号補正予算の件	可決
令和4年度八尾市一般会計第15号補正予算の件[賛成1]	可決	八尾市議会委員会条例の一部改正の件	可決
令和4年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計第2号補正予算の件	可決	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書提出の件	可決
令和4年度八尾市土地取得事業特別会計第2号補正予算の件	可決		

[※]2件一括賛成1

市議会の

いろは

— 市議会をもっとわかりやすく 身近に —

このコーナーでは、市議会に関する様々なテーマを解説していきます。

Question

市議会って、どうして必要なのですか??

Answer

市民の代表が集まって、自治体の予算案やルール（条例案）など、市民の暮らしに関わる様々なことを決める必要があるからです。

例えば、市長が提案した予算案について、市民のために税金が適切に使われているか、予算を修正すべきところはないか、様々な視点で審議し、賛成・反対を判断しています。市議会で可決となると、市は予算を使って、行政のサービスを行うことができるようになります。

このように、市民の皆様の生活に関わることの多くは、市議会で最終的に決めています。



本来は市民全員が参加して決めるのが一番かもしれませんが、市民全員が集まることは難しいです。

そこで、市民に選ばれた「市議会議員」が、市民の代表として決定を担っています。



市民の代表を選挙で選ぶ



編集後記

任期最後の定例会が終了しました。次号からは新たなメンバーとなりますが今後も皆様に身近な議会だよりをお届けしてまいります。

議会だより編集委員会
（委員長）副委員長
◎吉村 拓哉 ◎松田 憲幸
山中 宏 前園 正昭
西川 あり 坂本 尚之
谷沢 千賀子

八尾市議会 SNS

議会の最新情報をチェック!



Facebook
@yao.shigikai



Twitter
@yao_shigikai



カタログ ポケット Catalog Pocket

アプリで
議会だよりが
読める! 聞ける!

多言語(10言語)
音声読上げに対応



Android 版



iOS 版



各ページの縦帯の柄は八尾市の伝統文化である河内木綿の「二様菊花唐草文」の図柄をモチーフにしています。

やお市議会だより vol.319
令和5年4月20日発行

編集・発行：八尾市議会 〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号
電話 072-924-3895 / FAX 072-922-4968 / Email sigikaijimukyoku@city.yao.osaka.jp

刊行物番号 R 5-5